



## あいさつが飛び交う学校に part2

今月の生活目標が「場に応じたあいさつをしよう」ですので、ムラサキ朝会では、あいさつのお話をしました。まず、あいさつの種類について話をしました。その種類は「出会ったとき、別れるとき、出発・到着、見送りのとき、食事のとき、動作で行うあいさつ」に概ね分けることができます。つまり、私たちはあいさつに溢れた中で生活をしているということが言えるでしょう。そして、あいさつの効果として「互いに気持ちよくなる」「人と人とが繋がることできる」ということを伝えました。

次に、私が朝から旗振りのときに発見した「あいさつ名人(2年生と4年生の二人)」を紹介し、Zoomで全校児童の前で、あいさつの実演をやってもらいました。二人とも毎朝あいさつをしてくれるのですが、技術云々よりも「伝えようという気持ち」がそこにはあるのだと子供たちには伝えました。あいさつができる人は社会に出てからも、信頼され、仕事の成果にも好影響を与えることができるそうです。

但し、あいさつは一朝一夕で身に付くものではありません。「おはよう」から始まり「おやすみ」で終わることができるよう、家庭の中でも身に付けることが大切だと思います。あいさつについて、ご家庭の中でもぜひ話し合ってください。

### ～3年生のあいさつについての発表～

私の話の後には、3年生が学校の様々な場面でのあいさつの仕方を動画で流してくれました。校内で、あいさつに気を付けることや、職員室に入るときのあいさつの仕方など、とても丁寧でわかりやすく紹介してくれました。また、図書室に入るときもきちんとあいさつをしてはいる姿は立派でした。



## 防災の日思うこと

日本では、地震や津波・高潮・台風・豪雨・洪水など、自然災害が少なくありません。そのため、災害に対する認識を深めることを目的に、9月1日は、「防災の日」と制定されています。防災の日は、9月1日に「関東大震災」が起きたことに由来しているそうです。そこで改めて、避難場所と避難ルートの確認や自宅から避難場所までの経路を実際に歩いて確認したり、防災グッズを見直したり家庭で災害時の対応を話し合ったりしてみたいかがでしょうか？特に、災害時に、家族での連絡方法などの在り方などについて話し合っておくと安心ですね。

熊本地震を風化させないためにも、防災の日に、備えをすることが大切なことだと思いました。防災の日を「備えあれば憂いなし」の日にしてみたいかがでしょうか？

